

令和7年度 学校経営計画（概要版）

【児童の実態】

- 素直で明るく、前向きに取り組むことができる児童が多い。
- 異学年交流などの場面では、低学年にやさしくできる高学年児童が多く、高学年児童の姿から学ぼうとする低学年児童も多い。
- 習得目標問題の習得率（R6：6年生【国語：8割以上67%算数：57%＊満点14名、5割以下2名】学力の二極化傾向が進んでいる。
- 日本語国際学級で学ぶ外国籍の児童が多く在籍する。多様性をお互いに理解し、尊重しようとする態度が育っている。

学校教育目標（目指す子ども像）

人権尊重・社会貢献の精神に基づき、21世紀の共生社会を生き抜く力を育成することができるよう、児童・教職員・保護者・地域と共に「学び合い、育ち合う学校」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- あたたく
- ◎ かしこく
- たくましく

OECD アジェンダ 2030

学習指導要領

【東京都教育委員会 教育目標】

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間

東京都教育ビジョン
（第4次）

市教育振興基本計画
ビジョン八王子の教育

【八王子市教育委員会 教育目標】

- 「あふれる元気」 心身ともに健康で、生き生きとした人
- 「かがやく心」 自ら学び考え、知性と感性を高めようとする人
- 「仲間とともに」 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人
- 「はばたけ未来へ」 積極的に自分を高め、社会の向上に貢献しようとする人

経営理念

「すべての子どもが希望をもって、自ら伸び、育つ学校づくり」
～9年間を見通した教育課程を通して～

「分かりたい、できるようになりたい、友達と楽しく過ごしたい。」という子どもたちの願い、「勉強が分かり、楽しく学校に通ってほしい。」という保護者の願いはいつの時代も変わらない。この教育の不易を見失うことなく、9年間の義務教育に責任をもち、21世紀の共生社会を生き抜く力を子どもたちにはぐくむために教職員、保護者・地域と共に「学び合い、育ち合う学校」づくりを推進する。

目指す学校像

学校のキャッチフレーズ

「笑顔いっぱい、ゆいっ子」

- 1 子ども一人一人が、安心して自分のよさを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- 2 保護者・地域社会との相互理解、連携を図り学校の役割をよりよく果たして、その信託にこたえる開かれた学校
- 3 芸術や伝統・文化に学ぶ教育活動を重視し、子どもの情操や感性を豊かに育てる学校。

目指す教師像

教職員が専門職としての自覚をもち、協働し、学び合う学校

- ◇ 常に向上心を持ち、切磋琢磨する教師集団
 - ・「授業」で勝負できる教師（授業のプロ）
 - ・認め合い、支え合い、学び合う教師集団
 - ＊全ての教科において「主体的・対話的で深い学び」にチャレンジし、思考力・判断力・表現力の育成に重点をおいた授業改善を図る
 - ＊学力調査、授業アンケートによる分析と実態把握に努め、日々の授業実践や校内研究での検証を通して指導の工夫改善を図る
- ◇ OJTを取り入れた研修の日常化
- ◇ 教育者として児童・保護者との確かな信頼関係を築く
 - ・児童理解の専門性を磨き、個に応じた指導の充実を図る
 - ・一人一人の児童に寄り添い、肯定的な児童理解に努める（特別支援教育の視点に立った児童理解の推進）
 - ・保護者の願いを受け止め、信頼関係を築く
 - ・学習環境の整備（ユニバーサルデザイン）
- ◇ 教育公務員としての自覚
 - ・ 服務の厳正
 - ・ 礼節、品格

「確かな学力」を身に付けさせるために

- ◇ ICTの効果的な活用を通じた個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくり
 - ・「学び合い」を取り入れた、協働的な学びによる楽しく「分かる・できる」授業の実現
 - ・学力定着プロジェクト（国語・算数）による、小中9年間を見通した「はちおうじっ子ミニマム」の確実な定着
 - ・読書活動の推進（地域と連携した読み聞かせ・外部講師による図書の日）
 - ・算数科では、全学年習熟度別学習による基礎・基本の徹底を図る。
 - ・補充的な学習の時間の工夫（基礎・基本の定着を図る取組の共通実践）
 - ・放課後学習教室と関連させた家庭学習（学年×10分+10分）の定着
 - ・地域人材、外部講師を活用した専門性の高い授業の実践・
 - ・問題解決的、課題解決的な学習の展開（総合的な学習の時間の充実）
 - ・教科担任制の実施（外国語専科他）
 - ・「八王子市情報能力活用表」に基づいた情報リテラシーやICT技能の指導
- ◇ STEAM教育の推進
 - ・プログラミング教育の推進とプログラミングコンテストへの参画
 - ・SDGsに関する学習の計画的な実施
 - ・文化・芸術による子供の育成事業を活用した芸術鑑賞・体験（6年生）
 - ・地域人材を活用した地域学習の継続【全学年】
 - ・「日本遺産学習」の計画的な実施（車形：4年生、高尾山学習：5年生）
 - ・伝統文化体験【八王子祭り太鼓：3年生】
 - ・学校の歴史を歌い繋ぐ学習の実施▶平井李枝先生のコンサート
 - ・由井一美術館の活用（図工作品の展示・おおるり展出品作品の展示等）
 - ・打越中学習発表会への参加（6年生）

「豊かな人間性」を育むために

- ◇ 教師と児童及び児童同士、さまざまな人との温かな人間関係・信頼関係の確立
 - ・Q-U調査（6年生）、SCによる全員面接（5年生）の実施による児童の人間関係の実態把握
 - ・SSTプログラムの計画的な実施（特別支援教室拠点校の強みを生かす）
 - ・学年、異年齢交流、様々な交流活動の実施
 - ・国際理解教育の推進（日本語学級設置校の強みを生かした学習の実施）
- ◇ いじめ防止に向けた取組の徹底
 - ・「ふれあい月間」「いじめアンケート」による早期発見・早期対応の徹底
 - ・特別の教科「道徳」による「いじめ防止」に関連する授業の確実な実施
 - ・SNS学校ルールの指導の徹底と、SNSトラブル防止授業の実施
 - ・「はちおうじっ子サミット」による小中で一貫したいじめ防止の取組
- ◇ キャリア教育の充実
 - ・「はちおうじっ子キャリア・パスポート」の活用と保幼小交流の充実
 - ・地域活動の通知表での評価を通じた地域社会への参画意識の醸成
- ◇ 不登校児童への支援
 - ・登校支援コーディネーターを中心とした不登校対応の充実
 - ・進路先の中学校との情報交換による切れ目ない支援の継続

学校経営の基本方針

「健やかな心と体」を育むために

- ◇ 由井一小体力向上計画の取組の充実
 - ・運動会等、体育的行事の工夫・改善（体力調査の分析に基づいた授業改善）
 - ・短なわチャレンジ、持久走週間の継続、ドッジボール大会等休み時間の体育的活動の工夫
- ◇ 異年齢交流の充実
 - ・ロング集会の計画的な実施（十分にかかわり活動する時間の確保）
- ◇ 「生命（いのち）の安全教育」の取組の実施
 - ・児童が生命（いのち）を大切に、性犯罪・性暴力の加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、発達段階に応じて指導を行う
- ◇ 心身ともに健康な生活習慣を確立
 - ・食に関する指導を全学年で実施
 - ・家庭への啓発活動「食育だより」「生活リズム表」の継続
 - ・はちおうじっ子ミニマム【食育版】の実施（6年生）
- ◇ 危機回避能力を高める指導の充実
 - ・防災・減災教育の推進（避難訓練等の工夫・改善）、3.11講演会

保護者・地域と共に歩む開かれた学校

- ◇ 保護者とのコミュニケーションの充実
 - ・情報発信（学校だより、学年だより、HP、c4t h）
 - ・児童理解講演会の実施（道徳授業地区公開講座）
 - ・「子供見守りシート」の活用（保護者と連携したいじめ防止の取組）
 - ・年2回授業アンケート、自己評価、行事ごとの保護者アンケート、生活習慣アンケートの実施と分析、公表

学校運営協議会の充実

- ◇ 学校評価の充実（PDCAサイクルの確立）
- ◇ 「朝・放課後子ども教室」の充実 週5日間実施
- ◇ 学校運営協議会と地域学校協働活動事業による教育活動の推進
- ◇ 中学校と連携した漢字検定の実施（5・6年生）
- ◇ クリーン活動、北野ストリートフェス、ふれあい祭り等地域行事への積極的な参加

小中一貫教育取組計画に基づいた協働活動の推進

- ◇ 学力定着プロジェクトチームによるプロジェクト会議の実施（5回/年）
- ◇ 年3回の「小中一貫教育の日」での授業参観、研修会、情報交換会の実施
- ◇ 打越中合唱祭への参加
- ◇ 図工、美術の作品交流と打越中学習発表会の参観（6年）
- ◇ 授業体験や部活動見学などの中学校との交流（6年）
- ◇ あいさつ運動の小中合同実施（毎月8日）

保幼小中の共通実践の取組

- ◇ 「あいさつをしよう」「話を聞こう」「伝え合おう」
- ◇ 保幼小連携会議（3回）を通じた架け橋プログラムの作成と共通実施
- ◇ はちおうじっ子キャリアパスポートを活用したキャリア形成